

「UME プロジェクト」を訪問しました。

2022年6月8日(水) 14:00-17:00 尾道市浦崎町の浦崎地区社会福祉協議会 UMEプロジェクトを訪問しました。浦崎町は周囲を福山市に囲まれた地域で、「みろくの里」からほど近い町です。

駐車場にはソウルレッドのマツダ車が並び、わざわざ代表高橋さんのご主人がお出迎えをしてくださいました。ここは、ご主人の実家で空き家になっていたところを、子どもたちを含む団体メンバーで改装されたそうです。家の中には代表の高橋真理子さんと公民館長、それに子ども食堂のお世話をされている女性がおられました。このような地域の重鎮を仲間に引き入れて活動をされているそうです。

ほどなく小学生が「ただいま!」と元気よく帰ってきました。「ただいま」「おかえり」が自然と交わされる我が家のような居心地のいい空間です。子どもたちは、パソコンの出席簿にチェックして、てんでに宿題を始めていました。宿題が終わったら自由に遊ぶという習慣が身についているようです。また、尾道市立大学や岡山大学から学生がわざわざ手伝いに来られていました。子どもたちの宿題を見、外遊びの時の指導や見守りをしてくれるそうです。

16:00頃になると中学生も帰ってきました。小学校も中学校もすぐそばにあり、彼らにとっての日常になっているようです。17:00頃までには小学生が10名程度と中学生数人がきていました。イベントではない日常の活動を体験させていただきました。



UME プロジェクト

U(うらしま)M(みらい)E(ええじゃん)計画

<UME プロジェクト>

- ・2019年に代表の高橋さんが親御さんの介護のために東京から地元へ夫婦で帰ってこられ、地域社会のつながり改善のために結成した団体です。地域社会だけでなく、大学や高校も巻き込んで、空き家をリノベーションし、子ども食堂を開設するなどの居場所作りをアグレッシブに展開されています。その対応の速さと人を巻き込む力はピカイチです。

<https://umeproject.jimdofree.com/>

(井上)